

令和7年度

総合型選抜Ⅱ 学生募集要項

自然災害の発生や感染症の流行等による入学試験の実施について

自然災害の発生や感染症の流行等によって、入学試験の実施が懸念されるときは、本学のホームページで試験開始時刻の繰り下げや、試験の中止・延期、選抜方法の変更等の対応をお知らせしますので、定期的にホームページで確認してください。

受験情報サイト（URL） <https://juken.ehime-u.ac.jp>



総合型選抜Ⅱの試験日程等一覧

学部	学 科 ・ 課 程 等		募集人員(人)	出願情報の登録期間	検定料の支払期間及び出願書類の提出期間	試験期日	2段階選抜に係る第1段階選抜の結果発表	合格者発表	入学手続期間	出願要件等及び選抜方法	
法文学部	人文社会科学	「昼間主コース」	35	11月25日 } 12月13日	12月9日 } 12月13日	2月2日	/			32ページ参照	
		「夜間主コース」	10								
教育学部	学校教育	教育発達実践コース	8	10月18日 } 11月7日	11月1日 } 11月7日	11月24日	12月6日	2月10日	2月10日 } 2月19日	34ページ参照	
		小学校教育サブコース	総合型ⅡA (出願要件参照)								5
			総合型ⅡB (出願要件参照)								4
	初等中等教育	言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、外国語(英語)教科)	総合型ⅡA (出願要件参照)								3
			総合型ⅡB (出願要件参照)								2
	養成課程	科学教育サブコース (算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)	総合型ⅡA (出願要件参照)								3
			総合型ⅡB (出願要件参照)								2
		生活健康・芸術サブコース	家庭教科								3
			体育・保健体育教科								3
			音楽教科								4
図画工作・美術教科	4										
社会共創学部	産業マネジメント学科	20			11月23日				46ページ参照		
	地域資源マネジメント学科	10									
医学部	医 学 科		10			11月23日 } 11月24日			50ページ参照		
工学部	工 学 科	デジタル情報人材育成特別プログラム	5						53ページ参照		
農学部	食料生産科学	知能的食料生産科学特別コース	7	11月25日 } 12月13日	12月9日 } 12月13日	2月1日	/			55ページ参照	
	生命機能科学	健康機能栄養科学特別コース	7								
	生物環境科学	水環境再生科学特別コース	5								

出 願 方 法

総合型選抜への出願は、出願期間内に、インターネットで行い、併せて、出願しようとする学部が定める出願書類を本学に郵送してください。

なお、出願前に、動画「インターネット出願の使い方」を視聴し、インターネット出願の操作方法を理解してから、出願してください。

インターネット出願サイト

(URL) <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>



法文学部

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

法文学部では、人文・社会科学の知識を基盤とした幅広い教養と実践力を身につけた、汎用的能力の高いグローバル人材を育成することを目的とします。そのため、法文学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・理解)

1 高等学校等で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

(思考・判断)

2 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

3 人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

(技能・表現)

4 所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

選考方法の趣旨

大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの基礎的な知識、思考力、判断力を身につけているかをみるために、3教科3科目を課しています。また、人間や文化、社会の諸問題について主体的な関心を持ち、多様な人々と協働しながら勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいという強い意欲を有しているかをみるために、面接(口頭試問を含む)を課しています。さらに、勉学への意欲や関心、実践的活動などをみるために、志望理由書・調査書・活動報告書の提出を求めています。

教育学部

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。本学部は、教員養成学部としての重要性を自覚し、教育発達実践コース(幼年教育サブコース、小学校教育サブコース、特別支援教育サブコース)、初等中等教科コース(言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース)からなる各コースの特徴ある専門教育を実施しています。「人を育む」という観点から、多様化・複雑化する教育課題に的確に対応できる人材を育成し、社会に送り出します。この目的のために、次のような資質・能力を有する学生を求めます。

1 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

(知識・理解)

①高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(知識・理解、技能)

②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、体育、音楽、美術などの実技能力を有している。

(思考・判断・表現)

2 物事を多面的かつ論理的に思考・判断することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

(興味・関心・意欲)

3 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心をもち、教師として社会に主体的に貢献する意欲を明確に有している。

(態度)

4 積極的に多様な他者と協働し、対話を通して主体的に相互の理解に努めようとする態度を有している。

学校教育教員養成課程のアドミッション・ポリシー

幼児・児童・生徒の発達や学習、障害などの様々な教育的ニーズに対して幅広い興味と関心をもち、教育に関する諸問題について、自ら積極的に解決し、教師として社会に貢献しようとする意欲のある人を求めています。

教育や発達、教科、障害などに関する課題を積極的に探究し、解決に向けて自ら思考し、対話を通して相互理解に努めようとする人、個々の子どものニーズに柔軟に対応し、すべての子どもたちが輝く教育の創造に努めようとする人の入学を期待します。

選抜方法の趣旨

初等教育および中等教育の教員を目指すという強い目的意識、勉学意欲、基礎的知識等を持ち、緊張した状況下でも落ち着いて他者に自分の考えを自らの言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力を有しているかをみるために、面接試験または集団面接試験を課しています。また、高校生活における活動歴等を踏まえ、関心、意欲、態度等をみるために、調査書、活動報告書等を課しています。

(特別支援教育サブコース)

大学入学共通テストでは、高等学校レベルでの広い範囲の基礎学力をみるために、大学入学共通テストで5教科5科目を課しています。また、面接試験では、特別支援教育への強い関心と、特別支援教育教員を目指す目的意識や情熱を有していることも確認します。

(小学校教育サブコース)

大学入学共通テストでは、高等学校レベルでの広い範囲の基礎学力をみるために、大学入学共通テストで5教科5科目を課しています。また、集団面接試験では、初等教育への強い関心と、小学校教員を目指す目的意識や情熱を有していることも確認します。

(言語社会教育サブコース、科学教育サブコース)

大学入学共通テストでは、高等学校レベルでの広い範囲の基礎学力をみるために、大学入学共通テストで5教科5科目を課しています。また、集団面接試験では、初等中等教育への強い関心と、教員を目指す目的意識や情熱を有していることも確認します。

(生活健康・芸術教育サブコース)

大学入学共通テストでは、高等学校レベルでの広い範囲の基礎学力をみるために大学入学共通テストで、家庭教科および体育・保健体育教科は5教科5科目、音楽教科および図画工作・美術教科は3教科3科目を課しています。また、家庭教科における面接試験(プレゼンテーションを含む)、体育・保健体育教科における集団面接試験、音楽教科および図画工作・美術教科における面接試験では、初等中等教育への強い関心と、教員を目指す目的意識や情熱を有していることも確認します。

社会共創学部

アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

社会共創学部は、地域社会を持続可能な発展へと導くために、地域ステークホルダーと協働しながら、課題の解決策を企画・立案するだけでなく、知的展開に基づいた実践活動を通して、地域社会の未来を牽引する人材を育成します。

このため、社会共創学部では、以下のような入学者受入の方針を定め、地域の課題解決に取り組む意欲のある人材を求めます。

(知識・理解)

1 高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。

(思考・判断)

2 目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3 地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。

4 様々な人々と協働しながら、主体的に問題の発見とその解決に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

産業マネジメント学科のアドミッション・ポリシー

(知識・理解)

1 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。

(思考・判断)

2 目標を達成するために、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3 地域社会や地域企業に関心を持ち、地域産業の持続可能な発展に貢献する意欲を有している。

4 様々な人々と協働しながら、地域社会や地域産業の課題解決に主体的に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

地域資源マネジメント学科のアドミッションポリシー

(知識・理解)

1 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などに関して、高等学校卒業相当の基礎知識と理解力を有している。

(思考・判断)

2 目標を達成するために、地域資源や地域社会に関わる様々な事象を、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3 地域資源の活用や地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。

4 様々な人々と協働しながら、問題の発見と課題の解決に主体的に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

選考方法の趣旨

産業マネジメント学科

大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を幅広く身につけているかをみるために、4又は5教科5科目を課しています。また、個別学力検査等では、関心・意欲・表現力等を総合的にみるために、面接を課しています。さらに、高校生活における活動歴等を踏まえ、知識、関心、意欲等をみるために志望理由書、調査書、活動報告書を課しています。

地域資源マネジメント学科

大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を幅広く身につけているかをみるために、3教科3科目を課しています。また、個別学力検査等では、関心、意欲、表現力等を総合的にみるために、面接を課しています。さらに、高校生活における活動歴等を踏まえ、知識、関心、意欲等をみるために志望理由書、調査書、活動報告書を課しています。

医学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

愛媛大学医学部では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学・看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学部では次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・思考力・判断力・表現力）

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- 2 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。
（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）
- 3 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
- 4 医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。
- 5 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
- 6 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、多様な人々と協働して良好な関係を保つことができる。

医学科のアドミッション・ポリシー

愛媛大学医学部医学科では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学科では次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・思考力・判断力・表現力）

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
 - 1-1) [全ての入試枠] 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の広範な知識を有している。
 - 1-2) [一般選抜] 高等学校等で履修する数学および理科（物理、化学）について深く理解している。また、和文や英文を読んでその内容を理解し、日本語や英語で適確に表現することができる。
 - 1-3) [学校推薦型選抜Ⅱ・総合型選抜Ⅱ] 和文や英文の理解に加え、理科や数学の基礎的な知識を基に、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ考察し、日本語や英語で適確に表現できる。
- 2 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。
（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）
- 3 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
- 4 医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。

- 5 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
- 6 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、多様な人々と協働して良好な関係を保つことができる。
- 7 [学校推薦型選抜ⅡB (地域特別枠推薦)] 幅広い総合的な診療能力を身につける意欲を持ち、愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理感を持っている。
- 8 [総合型選抜Ⅱ] 研究医の不足や、地域・診療科における臨床医の偏在など、医学・医療を取り巻く諸問題に強い関心を持ち、その是正に意欲を持って取り組み、愛媛県内の医学・医療の担い手となる高い使命感と倫理感を持っている。

選考方法の趣旨

医学科

医師を目指すためには、卒業までに多くの専門知識や技術を身につけなければなりません。そのためにも、大学入学までに培われるべき基礎学力が必要です。

筆記試験では、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために、数学・物理・化学・生物・地学を含む総合問題試験を課しています。テーマは医学・医療に関係する内容に限らず、自然科学全般やその時々々の社会問題など広い範囲から出題します。

また、面接試験では、医師を目指すという目的意識や情熱が強いこと、緊張した状況下でも落ち着いて、他者に自分の考えを自分の言葉で伝えられるコミュニケーション能力を有していることを確認します。さらに、多様な人々と協働し生涯学び続けることが求められる医療人としての適性、医師の社会的責任について自分なりの考えを持っていることや、医療や医学について社会問題となっている事柄についての興味や関心を確認します。加えて、将来の愛媛県の医学・医療を支える人材として、研究医の不足や、地域・診療科における臨床医の偏在など、医学・医療を取り巻く諸問題に強い関心を持っていることや、その是正への意欲と医学・医療の発展に貢献するという自覚を評価します。

大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために6教科8科目を課しています。

工 学 部

アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

工学部では、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指します。そのため、工学部では次のような人物を求めます。

(知識・理解)

- 1 本学科の専門分野を学ぶために必要な、高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。

(思考・判断、技能・表現)

- 2 物事を多面的に考察し、論理的にまとめ表現することができる。
- 3 自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

- 4 工学の分野に興味を持ち、習得した知識・技術を地域社会あるいは国際社会に役立てたいと考えている。
- (主体性・多様性・協働性)
- 5 主体的に多様な経験を得ようとする意欲を有している。
- 6 多様な他者と関わり、相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有している。

選考方法の趣旨

デジタル情報人材育成特別プログラム

大学入学共通テスト、志望理由書、調査書、活動報告書、面接により入学後の修学全般に必須な基礎学力、入学後に重点的に履修する領域の修学に関する知識・理解、思考力・判断力・表現力の素地、興味・関心・意欲、態度、リーダーとしての主体性・多様性・協働性などの能力を評価します。

農学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、農学部は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・理解）

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する6教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜ⅠA]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜ⅠB]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

（思考・判断）

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

（興味・関心・意欲）

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

（表現）

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

（主体性・協働性）

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

食料生産学科のアドミッション・ポリシー

食料生産学科は、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスを俯瞰できる広い視野をもち、農業の6次産業化、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給の実現に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、食料生産学科は次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・理解）

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する6教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜ⅠA]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜ⅠB]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

知的食料生産科学特別コースのアドミッション・ポリシー

知的食料生産科学特別コースは、圃場、園芸施設、植物工場など様々な食料生産現場において、篤農家技術からセンサー技術、情報化技術、情報通信技術まで様々な先端技術を活用して、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスの知能化、スマート化を進めるために必要な知識や技術を身につける意欲をもった学生を求めます。

そこで、知的食料生産科学特別コースは次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- 2 高等学校等で履修する6教科(国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報)の基礎的な知識・技能を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に食料に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生命機能学科のアドミッション・ポリシー

生命機能学科は、生命化学分野に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、生命機能の解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、生命機能学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- 2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する6教科(国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報)の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜ⅠA]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜 I B]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

健康機能栄養科学特別コースのアドミッション・ポリシー

健康機能栄養科学特別コースは、食品の栄養機能や保健機能に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、食の機能性解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。

そこで、健康機能栄養科学特別コースは次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 高等学校等で履修する6教科(国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報)の基礎的な知識・技能を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に生命に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生物環境学科のアドミッション・ポリシー

生物環境学科は、山から海に至る広範囲の環境に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、地域規模から世界規模の範囲で活躍する意欲のある学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、生物環境学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜 II]

高等学校等で履修する6教科(国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報)の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜 I A]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜 I B]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

水環境再生科学特別コースのアドミッション・ポリシー

水環境再生科学特別コースは、農村の水環境に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、日本はもとより世界的な観点から、その問題の解決に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。

そこで、水環境再生科学特別コースは次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 高等学校等で履修する6教科(国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報)の基礎的な知識・技能を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題、特に環境に関する問題に関心をもち、学士課程・修士課程の一貫教育によって修得する知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもって行動することができる。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

選考方法の趣旨

I. 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース

大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目の基礎的な知識を有しているかをみるために、6教科8科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。さらに、食料や情報化技術に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの学習に励む強い意志と知能的食料生産科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書、活動報告書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、知能的食料生産科学に係わる基礎的知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

II. 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース

大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目の基礎的な知識を有しているかをみるために、6教科8科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。さらに、食品の健康機能や栄養機能に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの学習に励む強い意志と健康機能栄養科学という新たな分野で活躍し

たいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書、活動報告書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、健康機能栄養科学に係わる基礎的知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

Ⅲ. 生物環境学科 水環境再生科学特別コース

大学入学共通テストでは、高等学校等で履修する主要教科・科目の基礎的な知識を有しているかをみるために、6教科8科目を課し、「知識・技能・理解」を評価します。さらに、農村の水環境に関する様々な問題に関心を持ち、修士課程までの学習に励む強い意志と水環境再生科学という新たな分野で活躍したいという意欲を有しているかをみるために、志望理由書、志願者評価書、調査書、活動報告書の提出を求めるとともに、面接を課しています。また、水環境再生科学に係わる基礎的知識を有しているかをみるために、口頭試問を課しています。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

2

総合型選抜Ⅱの概要

大学入学共通テストを課し、大学入学共通テスト、実技検査、総合問題、面接、集団面接、口頭試問、出願書類に基づき、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を多面的・総合的に評価・判定し、合格者を決定します。

なお、各学部・学科等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、総合型選抜Ⅱの合格者になることができません。

3

募集人員

学部	学科・課程等		募集人員 (人)	備考	
法文学部	人文社会学科	「昼間主コース」	35		
		「夜間主コース」	10		
教育学部	実践教育 発達	特別支援教育サブコース	8		
		小学校教育 サブコース	総合型ⅡA	5	普通科又は理数に関する学科等 ^{*1} 対象
	総合型ⅡB		4	専門教育を主とする学科 ^{*2} 又は総合学科対象	
	初等 中等 教育 教員 養成 課程	言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、 外国語(英語)教科)	総合型ⅡA	3	普通科又は理数に関する学科等 ^{*1} 対象
			総合型ⅡB	2	専門教育を主とする学科 ^{*2} 又は総合学科対象
		科学教育サブコース (算数・数学教科、理科 教科、技術・情報教科)	総合型ⅡA	3	普通科又は理数に関する学科等 ^{*1} 対象
			総合型ⅡB	2	専門教育を主とする学科 ^{*2} 又は総合学科対象
	教科 コース	生活健康・ 芸術教育 サブコース	家庭教科	3	
			体育・保健 体育教科	3	
			音楽教科	4	
			図画工作・ 美術教科	4	
社会共創 学部	産業マネジメント学科		20		
	地域資源マネジメント学科		10		
医学部	医学科		10		
工学部	工学科	デジタル情報人材育成 特別プログラム	5	普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象	
農学部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース	7		
	生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース	7		
	生物環境学科	水環境再生科学特別コース	5		

※1 「理数に関する学科等」：高等学校設置基準第6条第2項第9号の「理数に関する学科」及び「外国語に関する学科」(同第13号)、「国際関係に関する学科」(同第14号)などを指しています。

※2 理数に関する学科等を除きます。

4

出 願 要 件

「高等学校」には、「中等教育学校」を含みます。(以下同じ。)

学部	学 科 ・ 課 程 等		出 願 要 件	
法 文 学 部	人 文 社 会 学 科	「 昼 間 主 コ ー ス 」 「 夜 間 主 コ ー ス 」	次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者(＊) ① 合格した場合は入学を確約できる者 ② 本学部のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、本学部への志望動機が明確な者	
教 育 学 部	学 校 教 育	教育発達実践コース 小学校教育サブコース	総合型ⅡA	高等学校の普通科又は理数に関する学科等を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、合格した場合は入学を確約できるもの
		初 等 中 等 教 科 コ ー ス 言語社会教育サブコース(国語教科、社会教科、外国語(英語)教科) 科学教育サブコース(算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)		
	教 員 養 成	教育発達実践コース 小学校教育サブコース	総合型ⅡB	
		初 等 中 等 教 科 コ ー ス 言語社会教育サブコース(国語教科、社会教科、外国語(英語)教科) 科学教育サブコース(算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)		
部 課 程	初 等 中 等 教 科 コ ー ス	教育発達実践コース 特別支援教育サブコース	総合型ⅡB	次の(1)から(3)の条件のいずれかを満たし、合格した場合は入学を確約できる者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者(＊)
		生 活 健 康 ・ 芸 術 教 育 サ ブ コ ー ス 家 庭 教 科 体 育 ・ 保 健 体 育 教 科 音 楽 教 科 図画工作・美術教科		
社 会 共 創 学 部	産 業 マ ネ ジ メ ン ト 学 科 地 域 資 源 マ ネ ジ メ ン ト 学 科		次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者(＊) ① 合格した場合は入学を確約できる者 ② 本学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、本学科への志望動機が明確な者	
医 学 部	医 学		<ul style="list-style-type: none"> 愛媛県内の医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること 研究医の不足や臨床医の偏在などに強い関心を持ち、その是正に意欲を持って取り組むことを通して、愛媛県内において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること 合格した場合は入学を確約できること 卒業後に愛媛県内の医育・医療機関に勤務することを確約できる者で、以下のいずれかに該当するもの (1) 愛媛県内の高等学校を令和4年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を令和4年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者	

工学部	工学科	デジタル情報人材育成特別プログラム	高等学校の普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当するもの (1) コンピュータ科学・応用情報工学に興味を持ち、この分野の学習に意欲を持つ者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
農学部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース	次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者（*） ① 合格した場合は入学を確約できる者 ② 志望学科及び志望特別コースのアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者
	生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース	
	生物環境学科	水環境再生科学特別コース	

注 各学部・学科等のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）は、1ページからの「1 アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）、選考方法の趣旨」をご覧ください。

* 学校教育法施行規則第150条第7号で出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和6年10月17日(木)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>）で確認してください。）なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

5 出願方法及び出願手続

(1) 出願方法（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

インターネット出願サイト

(URL) <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>

以下の方法により、出願手続をしてください。

- ① インターネット出願サイトへのユーザー登録
- ② 出願情報の入力
- ③ 検定料の支払*
- ④ 出願書類の郵送
- ⑤ 受験票のダウンロード・印刷

これらの詳細な手続きについては、15ページから18ページを確認してください。

* 検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

(1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合

(2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

※ 免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日以降で、当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/natural-disasters-exemption/>）をご覧ください。



(2) 出願受付期間

教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	特別支援教育サブコース 小学校教育サブコース
		初等中等教科コース	言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、外国語(英語)教科)
			科学教育サブコース (算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)
			生活健康・芸術教育サブコース 家庭教科、体育・保健体育教科、音楽教科、 図画工作・美術教科
社会共創学部	産業マネジメント学科		
	地域資源マネジメント学科		
医学部	医学科		

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたものうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

法文学部	人文社会学科「昼間主コース」、「夜間主コース」
工学部	工学科 デジタル情報人材育成特別プログラム
農学部	食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース 生物環境学科 水環境再生科学特別コース

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金) [12月13日(金)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたものうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(3) 出願書類の送付先

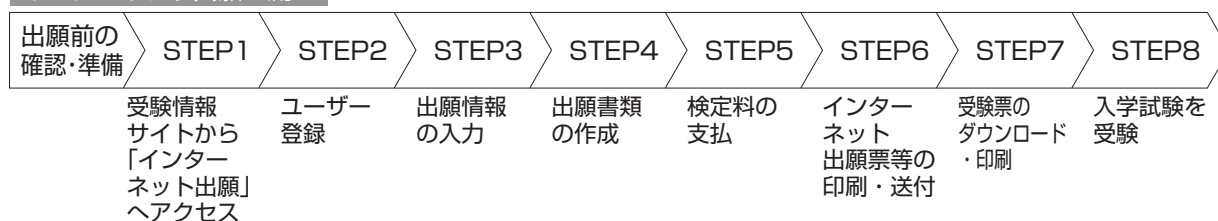
出願書類の送付方法については、17ページ「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

学部	送付先	所在地	電話
法文学部	法文学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9221
教育学部	教育学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
社会共創学部	社会共創学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9019
医学部	医学部入試係	〒791-0295 東温市志津川	089-960-5869
工学部	工学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農学部	農学部入試係	〒790-8566 松山市樟味3丁目5番7号	089-946-9648

(4) 出願から受験までの流れ

1) 出願手順

インターネット出願の流れ



出願情報の入力完了しても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（STEP5）に進むことができません。

出願前の確認・準備

①インターネット環境の確認

パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットを通じて出願情報の登録を行います。一部の携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

また、自宅にインターネット環境がない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコン等を利用できるように確認してください。

【推奨環境】

パソコン	Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 12.0以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 15.0以上 (Safari最新バージョン)
ブラウザの設定 : JavaScriptを有効にする。Cookieを有効にする。 その他必要なソフトウェア条件 : インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上を推奨します。	

【注意】

- ・セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問合せください。
- ・スマートフォン、タブレットを利用する場合、機種によって対応できないものがあります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo!メールなど）や携帯電話のメールアドレスでもかまいませんが、携帯メールの場合は、「@postanet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

出願登録完了時・検定料支払い完了時等に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

19ページの「2）支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ（JPEG形式、3MBまで）のアップロードが必要です。上半身、無帽、正面向きで3ヵ月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4：横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、20ページの「3）出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用〔角形2号封筒（24cm×33.2cm）〕の市販封筒が必要です。教育学部のみ、第1段階選抜結果通知送付用〔長形3号封筒（12cm×23.5cm）〕の市販封筒も必要です。詳細は、20ページの「3）出願書類」の表中「返信用封筒」で確認してください。

STEP1 受験情報サイトから「インターネット出願」へアクセス

受験情報サイト>インターネット出願
<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>



四国国立5大学インターネット出願(ログイン画面)



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。

STEP2 ユーザー登録

「新規登録」からユーザーID（メールアドレス）を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@postanet.jp」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザーID・パスワードでログインし、「愛媛大学」を選択後、画面に沿って出願先、個人情報（写真データを含む。）等を入力してください。

学部・入試区分選択画面



志望学科課程等選択画面



志願者情報の入力画面



写真アップロード画面



次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。

STEP4 出願書類の作成（学部により種類が異なります。）

- 21ページ「(5) 出願書類入力上の注意」をよく読んで入力してください。
- 法文学部：「志望理由書」、「活動報告書」
 - 教育学部：「志望理由書」、「自己推薦書」、「活動報告書」
 - 社会共創学部：「志望理由書」、「活動報告書」
 - 医学部：「志望理由書」、「活動報告書」
 - 工学部：「志望理由書」、「活動報告書」
 - 農学部：「志望理由書」、「活動報告書」

次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。これ以降は修正できません。

STEP5 検定料の支払

支払期間	
教育学部・社会共創学部・医学部	令和6年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時
法文学部・工学部・農学部	令和6年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。(詳細は19ページ「2) 支払方法」を参照。)

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される支払に必要な情報をメモしてください。

(例) コンビニエンスストアを選択した場合の画面

お支払い内容

ファミリーマートでのお支払い FamilyMart

お支払い金額 xx,xxx円

第1番号(企業コード) xxxxxx

第2番号(注文番号) xxxxxxxxxxxx

支払期限 xxxxx円xx日

お支払い情報送信 xxxxx @ xxx.xx.jp 送信

お支払い手順

- このページを印刷、または「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」を正確にメモしてください。
- ファミリーマート店舗の「マルチコピー機」のトップメニューから「代金支払いリチャージ」を選択し、「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」の順に入力してください。
- 登録された「明払券」をレジで提示し、お支払いください。

支払手続が完了しないと、「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料支払後にインターネット出願サイトにログインし、「出願履歴」にある「詳細を確認」にアクセスし、「インターネット出願票ダウンロード」「宛名票ダウンロード」ボタンをクリックして、インターネット出願票・宛名票等をダウンロードしてください。

※活動報告書等の出願書類は「インターネット出願票ダウンロード」ボタンをクリックした際に添付されます。

インターネット出願票・宛名票等の確認

A4サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

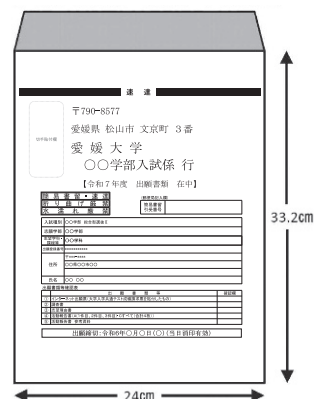
出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、20ページ「3) 出願書類」を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損した時のために、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



郵送

「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。

インターネットで入力が完了していても、出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

STEP7 受験票のダウンロード・印刷

下記期間中にインターネット出願サイトにログイン後、「出願履歴」にある「詳細を確認」にアクセスし、「受験票ダウンロード」ボタンをクリックして受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードした「受験票」には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

受験票ダウンロード期間	
教育学部 社会共創学部 医学部	令和6年11月15日(金)10時～令和6年11月24日(日)19時
法文学部 工学部 農学部	令和6年12月24日(火)10時～令和7年2月2日(日)19時

※ダウンロード開始日時は変更する場合があります。その場合は、受験情報サイト (<https://juken.ehime-u.ac.jp>) でお知らせします。

STEP8 入学試験を受験

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

2) 支払方法


【検定料】17,000円（法文学部「夜間主コース」は10,000円）

※別途、手数料が550円かかります。


クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）の3種類の支払方法があります（支払方法／取扱い金融機関は、下にあるものに限ります）。それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。一度選択した支払方法は変更できませんので、注意してください。

なお、支払済の検定料は30ページの「(7) 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

支払期間	
教育学部・社会共創学部・医学部	令和6年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時
法文学部・工学部・農学部	令和6年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時

クレジットカード（日本国内・国外とも利用可）	
<ul style="list-style-type: none"> • Visa • Master Card • JCB • Amex • Diners 	<p>これ以外のカードは利用できません。 カードの名義は志願者本人の名義でなくても可 支払方法は一括払のみ (カードの利用限度額を確認した上で利用してください。)</p> 

コンビニエンスストア（日本国内のみ利用可）	
17ページ「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。	
<ul style="list-style-type: none"> • セブンイレブン 	レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • ローソン • ミニストップ 	「Loppi」で手続後、レジで現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • ファミリーマート 	「マルチコピー機」で手続後、レジで現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • デイリーヤマザキ • ヤマザキデイリーストアー 	レジで「オンライン決済」と伝えて手続後、現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • セイコーマート 	レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払

Pay-easy（ペイジー）（日本国内のみ利用可）	
17ページ「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。	
<ul style="list-style-type: none"> • 金融機関ATM 対象金融機関（ゆうちょ銀行等）のPay-easyロゴが付いているATM（銀行ATM端末に表示されるメニュー名称が銀行によって異なります。）で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。 ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 • インターネットバンキング インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 志願者本人の名義でなくても可 	

上記の情報は、学生募集要項作成時のもので、今後変更されることがあります。
最新情報は、出願サイトで確認してください。

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ
出願操作サポート窓口（コールセンター）

受付期間：出願受付期間中

受付時間：9時～17時（土日・祝日を除く。）

電話番号：075-341-8620（運営会社：京都電子計算株式会社）

3) 出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

出願後、住所（志願者連絡先）が変わった場合は、速やかに志願学部入試係に連絡してください。

書類等	摘 要	送付を要する者
インターネット 出 願 票	出願サイトからダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 法文学部、工学部、農学部に出願する者は、所定の箇所に「令和7共通テスト成績請求票[総合]国公立総合型選抜用」を必ず貼ってください。 出願書類提出時に、成績請求票（共通テスト受験票）が届いていない場合には、成績請求票貼付欄に「成績請求票未着」と朱書きして出願してください。 なお、成績請求票は到着次第速やかに、14ページ「(3) 出願書類の送付先」へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。 教育学部、社会共創学部、医学部にあつては、出願時に「令和7共通テスト成績請求票[総合]国公立総合型選抜用」を貼る必要はありません。	全 員
調 査 書	文部科学省所定の様式（過年度卒業生については、従前の様式（以下「旧調査書」という。）も可）により出身学校長が作成し、厳封したもの（注1） 高等学校等を卒業した者で、高等学校等の保存期間の経過により調査書の提出ができない場合は、「卒業証明書」、「成績証明書」（又は「単位取得証明書」）及び「活動調査書」（下記参照）を調査書の代わりに提出してください。 なお、成績証明書（又は単位取得証明書）を提出できない場合は、高等学校等が作成した「成績証明書（又は単位取得証明書）が発行できない旨の理由書」を「卒業証明書」と併せて提出してください。	全 員
活 動 調 書	大学ホームページ（ https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/ ）からダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷後、志願者本人が必要事項を記入したものの 様式をダウンロードしてパソコン等で作成しても構いません。	調査書が提出できない者
入学確約書		医学部 志願者のみ
教育学部 実技検査票	出願サイトからダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷後、必要事項を記入したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。	教育学部 音楽教科 志願者のみ
スポーツ 活動調書		教育学部 体育・保健体育教科 志願者のみ
志望理由書	出願サイトに入力後、ダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 詳細は、21ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	全 員
自己推薦書	出願サイトに入力後、ダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 詳細は、21ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	教育学部 志願者のみ
志願者評価書	大学ホームページ（ https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/ ）からダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で両面印刷した用紙に、出身学校長又は志願者を良く知る教員等が作成し、厳封したものの 様式をダウンロードしてパソコン等で作成しても構いません。	農学部 志願者のみ
活 動 報 告 書	出願サイトに入力後、ダウンロードし、 <u>A4サイズ</u> で片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 〔法文学部〕活動報告書A（必須）、活動報告書C（任意） 入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・Cすべて（合計4枚）印刷の上、郵送してください。 〔教育学部・社会共創学部〕活動報告書A、B、Cの3種類のうち1種類以上 A、B、Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）印刷の上、郵送してください。 〔医学部〕活動報告書Aのみ 〔工学部〕活動報告書A（必須）、活動報告書C（任意） 〔農学部〕活動報告書A（必須）、活動報告書C（任意） なお、農学部志願者は、「活動報告書」Aの入力内容において、資格検定等がある場合は、「活動報告書」Cへも入力してください。 詳細は、21ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。	全 員

書類等	摘 要	送付を要する者
活動報告書の参考資料	<p>〔法文学部・社会共創学部〕 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>〔教育学部〕 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Bの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>〔医学部〕 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） Aに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>〔工学部〕 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>〔農学部〕 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>詳細は下記の「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。</p>	全 員
返信用封筒 (第1段階選抜結果通知送付用)	<p>市販の長形3号封筒(12cm×23.5cm)に、出願サイトからダウンロードし、<u>A4サイズ</u>で片面印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 返信用封筒宛名ラベルは、出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 760円分の切手を必ず貼ってください。</p>	教育学部 志願者のみ

- 注1 教育学部志願者及び社会共創学部志願者は、「8. 備考」の欄には、出身（在籍）学校又はその学科の特性を生かした学習の成果や、高大連携活動等による成果があれば記入してください。
- 注2 インターネット出願票等提出後は、いかなる理由があっても記載内容の変更は認められませんので、インターネット出願情報入力の際は、該当事項をよく読んで誤りのないよう正確に入力してください。
また、出願書類は返還しません。
- 注3 出願書類等が外国語で作成されている場合は、日本語訳も添付してください。
- 注4 愛媛大学の「活動報告書」は四国国立5大学の共通様式をベースにしています。いつからでも下記のサイトを利用することにより、活動報告書の準備ができます。
四国国立5大学進学支援サイト（URL：https://portal.postanet.jp/shikoku/）

(5) 出願書類入力上の注意

法 文 学 部

志望理由書

以下の①～③について入力してください。

面接に際しては、本学部のアドミッション・ポリシーに照らしつつ、この志望理由書を活用します。そのことに留意しながら入力してください。

① 関心の所在（300字まで）

自分は何に関心をもっているのかを、大学で学ぼうと思うことがらと関連させながら、具体的に入力してください。

② 志望動機（300字まで）

①を追求するにあたって、どうして本学部を希望するのかを、具体的に入力してください。

③ 自己アピール（300字まで）

あなたが特に訴えたい自分の特性、余人にはできない貴重な体験、これだけは他人に負けないと思うこと等、本学部で学ぶにあたって活かしたいことがらを具体的に入力してください。

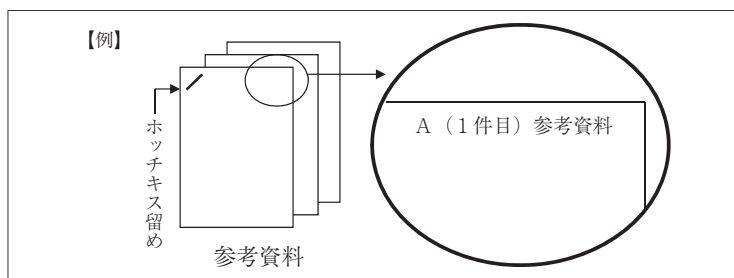
活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」とC「資格・検定等」の2種類あります。このうち、A「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。C「資格・検定等」に関しては、入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・Cすべて（合計4枚）印刷の上、郵送してください。

次のA・Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。
 - * 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。
- (2) 入力項目は以下のとおりです。
 - ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
 - ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ③ 参考資料はA 4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A 4サイズの紙に貼り付けるか、A 4サイズの用紙にコピーしてください。ただし、参考資料は1件につき片面4枚以内とします。なお、参考資料は返還しません。
 - ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めしてください。1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。（「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。）



C「資格・検定等」

- (1) 入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。
- (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等と取得等の時期を入力します。
- (3) 取得等の時期は問いません。
- (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。

- (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。
- (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等にかかれている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。
- (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。コピーはA4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

教育学部

志望理由書

本課程への入学を志望する理由、大学生活の目的、将来の抱負等について、志願者本人が540字以内にまとめて入力してください。

自己推薦書

自己推薦の理由やアピールしたい事項（特技、取得資格、受賞表彰事項等）について、志願者本人が540字以内にまとめて入力してください。

活動報告書

A、B、Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）を印刷の上、郵送してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

B「課題研究等」

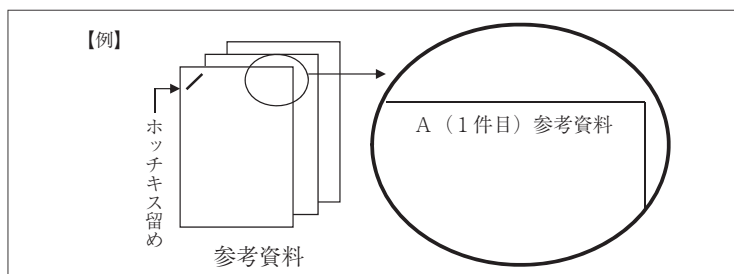
C「資格・検定等」

次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動（吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など）、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。
- (2) 入力項目は以下のとおりです。
 - ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6カ月以上1年未満」「3カ月以上6カ月未満」「3カ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を提出することができます。
 - ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の提出は任意ですが、添付する場合は「添付する参考資料の一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。

- ③ 参考資料はA 4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A 4サイズ用の紙にコピーしてください。資料は、1件目から3件目までそれぞれA 4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。
- ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めし、1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。
- ⑤ 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。



B 「課題研究等」

- (1) 課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。
- (2) 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1件について、入力してください。
- (3) 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
- (4) 課題研究等に関して大学から問い合わせを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問い合わせ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。
- (5) 次の要領で参考資料を提出することができます。
 - ① 参考資料は(3)の内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の提出は任意です。提出する場合は、「3. 課題研究等の概要や成果」欄に何を提出するか明記してください。
 - ③ 参考資料はA 4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A 4サイズ用の紙にコピーしてください。資料はA 4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。
 - ④ 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。

C 「資格・検定等」

- (1) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。
- (2) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (3) 合格証書や認定書、スコアシート等（以下証拠書類）が手元にない場合は入力してはいけません。
- (4) 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (5) 「取得等の年月」の欄は、証拠書類に即して入力してください。
- (6) 証拠書類のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。コピーはA 4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合は原本を提示してください。例えば、受験の際に原本を持参するよう、事前に連絡することがあります。

志望理由書

本学科への入学を志望する理由、大学生活の目的、卒業後の抱負等を志願者本人が1,000字以内にまとめて入力してください。

活動報告書

A、B、Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）印刷の上、郵送してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

B「課題研究等」

C「資格・検定等」

次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

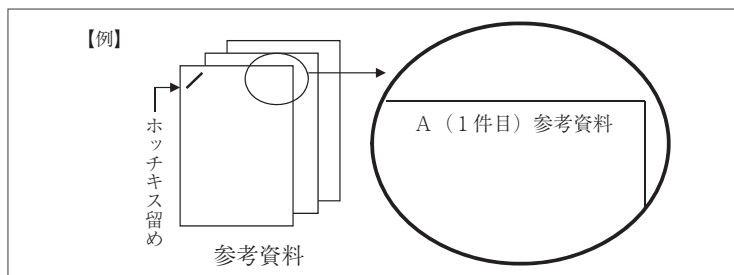
A「意欲的に取り組んだ活動」

中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、伝統芸能、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。

※ 資格の取得や検定の合格、大会への参加等に向け意欲的に取り組んだ過程は、成果を問わず、A「意欲的に取り組んだ活動」に入力することができます。

【注意事項】

1. 活動の説明として、300字まで入力できます。これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
2. 「意欲的に取り組んだ活動」は全部で3件まで入力できます。3件は上限であり、入力した件数だけで評価することはありません。
3. 次の要領で参考資料を提出することができます。
 - (1) 参考資料は入力した内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。
 - (2) 参考資料の提出は任意ですが、提出する場合は参考資料の入力欄に、何を提出するかを入力してください。
 - (3) 参考資料は他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。出願サイトから提出することはできません。
 - (4) 参考資料は原則として、紙とします。原本でもコピーでも構いませんが、返還しません。
 - (5) コピーの場合はA4又はA3サイズの内紙とします。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーを取ってください。写真などの小型のものは、A4サイズの内紙に貼り付けるか、A4サイズの内紙にコピーしてください。
 - (6) 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。
 - (7) 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとに左上をホッチキス留めし、1枚目の右肩に「A（○件目）参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。



B「課題研究等」

課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。

【注意事項】

1. 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1件について、入力してください。
2. 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
3. 課題研究等に関して大学から問合せを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問合せ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。
4. 参考資料の提出が必要と判断した場合は、大学から提出を求めることがあります。その場合を除き、参考資料の提出は認められません。

C「資格・検定等」

取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。

※資格の取得や検定の合格、大会への参加等に向け意欲的に取り組んだ過程は、成果を問わず、A「意欲的に取り組んだ活動」に入力することができます。

【注意事項】

1. 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
2. 合格証書や認定書、スコアシート等（以下、証拠書類）が手元にない場合は入力してはいけません。
3. 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。
4. 「取得等の年月」は、証拠書類に即して入力してください。
5. 次の要領で証拠書類のコピーを必ず提出してください。
 - (1) 証拠書類のコピーを他の出願書類と一緒に大学に郵送してください。証拠書類のコピーは、活動報告書Cに入力した件数分を全て必ず提出してください。なお、出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。
 - (2) 証拠書類のコピーは、A4又はA3サイズの用紙とします。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてコピーを取ってください。
 - (3) 証拠書類のコピーは、活動報告書Cに入力した「資格・検定・試験等の名称」の順番に並べ、全てをひとまとめにして左上をホッチキス留めしてください。なお、活動報告書Cはホッチキス留めせずに提出してください。

医 学 部

志望理由書

面接に関しては、本選抜のアドミッション・ポリシーに照らしつつ、この志望理由書を活用します。そのことに留意しながら入力してください。

「研究医の不足など」又は「臨床医の偏在など」のどちらかを選択し、選択肢に関連させながら、志望理由を1,000字以内で具体的に入力してください。

活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」のみ提出してください。
次の注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動、資格・検定の取得などが該当します。
* 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。
- (2) 入力項目は以下のとおりです。
 - ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」として入力できるのは1件のみです。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
 - ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 資格・検定の取得に関する事柄を入力する場合は、合格証書や認定書、スコアシート等のコピーを必ず添付してください。その他の活動に関する参考資料の添付は任意です。
 - ③ 参考資料を添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ④ 参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙へ貼り付けるのではなく、A4サイズ用の紙にコピーしてください。資料はA4の表面1枚とし、裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。
 - ⑤ 参考資料の右肩に氏名を記入し、「A参考資料」と明記してください。

工 学 部

志望理由書

本特別プログラムへの入学を志望する理由、大学生活の目的、卒業後の抱負等を志願者本人が500字以内にまとめて入力してください。

活動報告書

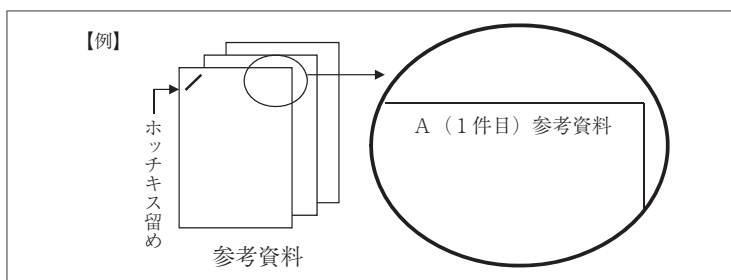
活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」とC「資格・検定等」の2種類あります。このうち、A「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。C「資格・検定等」に関しては、入力任意（該当する事柄がある場合のみ入力）です。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。
* 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。

(2) 入力項目は以下のとおりです。

- ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明(例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。)
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容(参考資料については下の(4)を参照してください。)
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。(例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事) この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ③ 参考資料はA 4サイズの紙(コピーでも原本でも可)で提出(他の出願書類と一緒に郵送)してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A 4サイズの紙に貼り付けるか、A 4サイズの用紙にコピーしてください。なお、参考資料は返還しません。
 - ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めしてください。1枚目の右肩に「A (〇件目) 参考資料」と明記してください。「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。



C 「資格・検定等」

- (1) 入力任意(該当する事柄がある場合にのみ入力)です。
- (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績(スコア)等と取得等の時期を入力します。
- (3) 取得等の時期は問いません。
- (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。
- (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等にかかれている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。
- (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出(他の出願書類と一緒に郵送)してください。コピーはA 4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

農 学 部

志望理由書

本学、本学部のパンフレットやホームページなどをよく読み、志望する特別コースの教育内容やアドミッション・ポリシーを理解した上で、その特別コースを志望する理由を志願者本人が1,000字以内にまとめて入力してください。

その際、得意な教科・科目、自分の長所などの自己アピールポイントと、将来行ってみたい研究や就きたい職業に関する内容を含めて入力してください。

活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」とC「資格・検定等」の2種類あります。このうち、A「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。C「資格・検定等」に関しては、入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。

A「意欲的に取り組んだ活動」

(1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動、資格・検定の取得などが該当します。

なお、資格・検定の取得を入力する場合は、C「資格・検定等」へも入力し、参考資料を添付してください。

* 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。

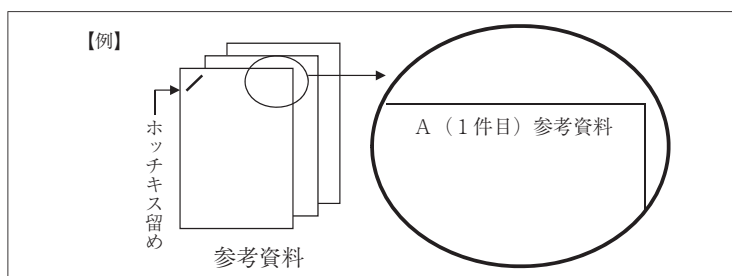
(2) 入力項目は以下のとおりです。

- ① 活動の名称
- ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
- ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
- ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）

(3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。

(4) 次の要領で参考資料を添付することができます。

- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
- ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
- ③ 参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A4サイズの紙に貼り付けるか、A4サイズの用紙にコピーしてください。参考資料は、A4の表面とし裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。
- ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めしてください。1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。（「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。）



C「資格・検定等」

- (1) 入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。
- (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等と取得等の時期を入力します。
- (3) 取得等の時期は問いません。

- (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。
- (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等書かれている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。
- (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。コピーはA4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

(6) 受験票等のダウンロード・印刷

受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください（18ページ参照）。試験当日は、印刷した受験票を持参してください。

また、ダウンロードした「受験票」には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

なお、受験票は入学手続き及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

(7) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577
 愛媛県松山市道後樋又10番13号
 愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
 電話番号 089-927-9074、9077
 E-mail suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(8) 注意事項

- ① 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、出願した学部の入試係（71ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）に連絡してください。また、出願書類は返還しません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ③ 「愛媛大学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」は、個別学力検査等受験及び入学手続き並びに入学試験個人成績開示請求の際に必要なとなりますので、紛失したり、汚損したりすることのないよう大切に保管しておいてください。

(1) 大学入学共通テストの数学のグループ分け

グループ	科目名
数学①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』
数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』

(2) 大学入学共通テストの共通事項

- ◎ 利用教科・科目の採用方法は、学部・学科等により異なるので、学部・学科等が指定する科目及び採用方法を必ず確認すること。
- ◎ 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答する。
- ◎ 地理歴史と公民を2科目選択する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目（『地理総合』と『地理総合、地理探究』等）の組合せを選択することはできない。
- ◎ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲のうち、2つを選択解答する。
- ◎ 理科における同一名称を含む出題範囲と科目とは、「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』及び「地学基礎」と『地学』をいう。
- ◎ 外国語『英語』は、リーディング及びリスニングで構成する。

(3) 旧教育課程履修者等への経過措置

- ◎ 大学入学共通テストにおける旧教育課程履修者等への経過措置については、32ページから57ページの【経過措置】のとおりである。ただし、大学入学共通テストの数学の『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』の科目を選択解答できる者は、高等学校等で当該科目を履修した者（『旧情報関係基礎』においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限る。
- ◎ 個別学力検査等の出題教科・科目等における旧教育課程履修者等への経過措置として、新教育課程による出題科目とこれに対応する旧教育課程との共通の内容を出題するなど、旧教育課程履修者等に不利にならないように配慮した出題を行う。

1 出願要件

次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

① 合格した場合は入学を確約できる者

② 本学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、本学部への志望動機が明確な者

※ 学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和6年10月17日(木)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>）で公表しています。）

なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月)10時～12月13日(金)16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出願手続

詳細については、13ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

3 試験期日

令和7年2月2日(日)9時から

詳細については、58ページ「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

4 試験場

法文学部で実施します。

詳細については、令和7年2月1日(土)10時に法文学部試験場前（試験場の位置については、66ページの「13 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

5 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接（口頭試問を含む。）の結果及び提出された出願書類（志望理由書、調査書、活動報告書）の内容から、志願者の能力・適性・関心・意欲等を多面的、総合的に評価します。

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について（「昼間主コース」「夜間主コース」共通）

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情報	『情報Ⅰ』	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔3教科3科目〕		
◆「地理歴史、公民」、「数学」、「理科」及び「情報」において、計2科目以上を受験している場合は、「地理歴史、公民」の第1解答科目、「数学」、「理科」の第1解答科目及び「情報」のうち、高得点1科目を採用する。		

- 注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』	
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	①『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』	
	②『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』	
情報	『旧情報』	

② 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

コース	大学入学共通テスト								個別学力検査等		合計	
	国語	地理歴史	公民	数学		理科	情報	外国語	小計	面接		出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)
				①	②							
昼間主コース	200	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	200	600	200	100	900	
夜間主コース	200	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	200	600	200	100	900	

- 注1. () は選択科目の配点を示します。
 注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	アドミッション・ポリシーに基づいて、勉学への意欲や関心、基礎的知識、理解力、思考力、表現力、態度などを多面的、総合的に評価する。
出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	学業成績、人物、特別活動、多様な取り組み、入学動機、卒業後の進路などについて、評定平均値や「指導上参考となる諸事項」の記載内容を含めて、総合的に評価する。

学校教育教員養成課程

教育発達実践コース

特別支援教育サブコース

小学校教育サブコース

総合型ⅡA
総合型ⅡB

初等中等教科コース

言語社会教育サブコース(国語教科、
社会教科、
外国語(英語)教科)

総合型ⅡA
総合型ⅡB

科学教育サブコース(算数・数学教科、
理科教科、
技術・情報教科)

総合型ⅡA
総合型ⅡB

生活健康・芸術教育サブコース 家庭教科
体育・保健体育教科
音楽教科
図画工作・美術教科

1 出願要件

課程等	試験区分	出願要件
学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース 初等中等教科コース 言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、 外国語(英語)教科) 科学教育サブコース (算数・数学教科、理科 教科、技術・情報教科)	総合型ⅡA	高等学校の普通科又は理数に関する学科等を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で、合格した場合は入学を確約できるもの
	総合型ⅡB	次の(1)から(3)の条件のいずれかを満たし、合格した場合は入学を確約できる者 (1) 高等学校の <u>専門教育</u> を主とする学科(理数に関する学科等を除く。)又は総合学科を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者*
学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 特別支援教育サブコース 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブ コース 家庭教科、体育・保健 体育教科、音楽教科、 図画工作・美術教科	総合型Ⅱ	次の(1)から(3)の条件のいずれかを満たし、合格した場合は入学を確約できる者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定(第6号を除く。)により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者*

注. 「理数に関する学科等」：高等学校設置基準第6条第2項第9号の「理数に関する学科」及び「外国語に関する学科」(同第13号)、「国際関係に関する学科」(同第14号)などを指しています。
 ※学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要ですので、令和6年10月17日(木)までに必要書類を添えて申請してください。(入学資格審査の詳細については、本学ホームページ(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>)で公表しています。)なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

2 コース等の決定

教育学部学校教育教員養成課程は、教育発達実践コース(幼年教育サブコース、特別支援教育サブコース、小学校教育サブコース)、初等中等教科コース(言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース)を設けています。実践的なカリキュラムと相互に尊重し、啓発しあう学びを保障することで、確かな教育実践力と豊かな人間性とを兼ね備えた学校教員を養成します。

本課程のコース、サブコース、教科の入学者選抜試験により、所属コース、サブコースが決定されます。入学後はコース、サブコースの変更は認められません。

3 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金)10時～11月7日(木)16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出願手続

詳細については、13ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

4 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和6年11月24日(日)9時から

詳細については、58ページ「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

5 試験場

教育学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に教育学部試験場前（試験場の位置については、66ページの「13 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

6 選抜方法等

(1) 学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 特別支援教育サブコース

① 第1次選抜


面接及び提出された出願書類（志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書）により選考し、募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakuic.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金)10時（予定）～12月19日(木)17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和7年1月20日(月)～24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票 総合 国公立総合型選抜用」を教育学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、選抜を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目等について（第2次選抜）

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』	から1
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から1
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔5教科5科目〕		
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「数学」において2科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。		

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト	
教科	科目名等
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
数学	①『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	②『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

③ 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等		合計	
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	小計	面接		出願書類 （志望理由書 自己推薦書 調査書 活動報告書）
			①	②							
200	(100)	(100)	(100)	(100)	100	200	-	700	200	100	1000

注1. ()は、選択科目の配点を示します。
 注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

④ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
面接	特別支援教育への関心や特別支援学校教員を目指す目的意識、勉学意欲などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力、主体性などを評価する。
出願書類 （志望理由書 自己推薦書 調査書 活動報告書）	志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。 活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを通して、主体的に取り組む態度を総合的に評価する。

- (2) 学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース
 初等中等教科コース 言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、外国語(英語)教科)
 科学教育サブコース (算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)

① 第1次選抜


集団面接の結果及び提出された出願書類 (志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書) により選考し、募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

次のWebサイト (運営会社: 大学情報センター) で合格者発表を行います。

アドレス (URL) を事前に「お気に入り (ブックマーク)」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakuic.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金) 10時 (予定)~12月19日(木) 17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和7年1月20日(月)~24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票 総合 国公立総合型選抜用」を教育学部入試係へ郵送 (速達・簡易書留郵便) してください。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、選抜を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目等について (第2次選抜)

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理 歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)	
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』	から1
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から1
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔5教科5科目〕		
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「数学」において2科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。		

- 注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者 (リスニングを免除された者を除く) は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト	
教 科	科 目 名 等
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』
公 民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
数 学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

③ 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大 学 入 学 共 通 テ ス ト									個別学力検査等		合 計
国 語	地理歴史	公 民	数 学		理 科	外国語	情 報	小 計	集団面接	出願書類 (志望理由書 自己推薦書 調査書 活動報告書)	
			①	②							
200	(100)	(100)	(100)	(100)	100	200	-	700	200	100	1000

注1. () は、選択科目の配点を示します。

注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

④ 個別学力検査等の採点・評価基準

学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
集 団 面 接	小学校教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力、主体性などを総合的に評価する。
出 願 書 類 (志望理由書 自己推薦書 調査書 活動報告書)	志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。 活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを通して、主体的に取り組む態度などを総合的に評価する。

学校教育教員養成課程 初等中等教科コース

言語社会教育サブコース（国語教科、社会教科、外国語(英語)教科）

科学教育サブコース（算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科）

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
集 団 面 接	教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力、主体性などを評価する。
出 願 書 類 (志望理由書 自己推薦書 調査書 活動報告書)	志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。 活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを通して、主体的に取り組む態度などを総合的に評価する。

(3) 学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 家庭教科

① 第1次選抜


面接（プレゼンテーションを含む。）及び提出された出願書類（志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書）により選考し、募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金) 10時（予定）～12月19日(木) 17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和7年1月20日(月)～24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票[総合]国公立総合型選抜用」を教育学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、選抜を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目等について（第2次選抜）

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』	から1
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から1
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔5教科5科目〕		
<p>◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「数学」において2科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。</p>		

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト	
教 科	科 目 名 等
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』
公 民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
数 学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

③ 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大 学 入 学 共 通 テ ス ト								個別学力検査等		合 計	
国 語	地理歴史	公 民	数 学		理 科	外国語	情 報	小 計	面 接 (プレゼンテーションを含む。)		出願書類 (志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)
			①	②							
200	(100)	(100)	(100)	(100)	100	200	-	700	500	100	1300

注1. () は、選択科目の配点を示します。

注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

④ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
面 接 (プレゼンテーションを含む。)	生活に関する諸課題や家庭科教育への関心、教員を目指す目的意識、勉学意欲などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やプレゼンテーション能力を有していることを評価する。
出 願 書 類 (志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)	志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。 活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを通して、主体的に取り組む態度などを総合的に評価する。

(4) 学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 体育・保健体育教科

① 第1次選抜


集団面接及び提出された出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書、スポーツ活動調書)により選考し、募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

次のWebサイト(運営会社:大学情報センター)で合格者発表を行います。

アドレス(URL)を事前に「お気に入り(ブックマーク)」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金) 10時(予定)~12月19日(木) 17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和7年1月20日(月)~24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票(総合)国公立総合型選抜用」を教育学部入試係へ郵送(速達・簡易書留郵便)してください。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、選抜を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目等について（第2次選抜）

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』（再掲）	
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』	から1
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から1
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔5教科5科目〕		
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 「数学」において2科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。 「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。		

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト	
教科	科目名等
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』
数学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』

③ 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等		合計	
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	小計	集団面接		出願書類 志望理由書 自己推薦書 調査書 活動報告書 スポーツ活動調書
			①	②							
100	(100)	(100)	(100)	(100)	100	100	-	500	200	400	1100

注1. ()は、選択科目の配点を示します。
 注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

④ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
集団面接	教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力を有していることを評価する。
出願書類 志望理由書 自己推薦書 調査書 活動報告書 スポーツ活動調書	志望理由書及び自己推薦書は、学習意欲、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。 調査書は高等学校における特記すべき活動などを総合的に評価する。 活動報告書は、志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを通して、主体的に取り組む態度などを総合的に評価する。 スポーツ活動調書は、競技大会への出場および成績、スポーツに関する受賞などを総合的に評価する。

(5) 学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 音楽教科

① 第1次選抜


実技検査、面接（出願書類（志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書）は面接に含めて評価する）の結果により選考し、募集人員の2倍程度を合格者としします。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金) 10時（予定）～12月19日(木) 17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和7年1月20日(月)～24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票[総合]国公立総合型選抜用」を教育学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、選抜を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目等について（第2次選抜）

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』 ②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔3教科3科目〕		
◆「地理歴史、公民」、「数学」、「理科」において計2科目以上を受験している場合は、「地理歴史、公民」の第1解答科目、「数学」、「理科」の第1解答科目のうち高得点1科目を採用する。		

注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』	
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	①『旧数学Ⅰ・旧数学A』	
	②『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』	

③ 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		合計
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	小計	実技	面接	
			①	②							
200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	-	500	700	100	1300

注1. () は、選択科目の配点を示します。

注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

④ 実技検査内容

検査内容
<p>1 音楽に関する基礎検査</p> <p>① 新曲視唱（8小節程度の旋律を歌う。）</p> <p>② 和音聴音（和音を聞き取り、種類を答える。）</p> <p>③ 旋律聴音（平易な旋律を聴き、記憶して歌う。）</p> <p>④ 楽典（高等学校の音楽の教科書に記載程度の楽典に関する問いに答える。）</p> <p>2 ピアノ 任意のピアノ曲を暗譜で演奏する。</p> <p>3 弾き歌い 小学校・中学校・高等学校の音楽の教科書や教材曲集等に掲載されている任意の歌唱教材（合唱曲を含む。）を弾き歌いで演奏する。簡易伴奏も可。楽譜をみてもよい。合唱曲は任意のパートもしくは主旋律を歌う。</p> <p>4 選択実技 下記の①、②のどちらかを選択する。</p> <p>① 任意の独唱曲（日本の伝統的な歌唱による曲を含む。）を原語及び暗譜で演奏する。アリアの場合は原調で歌うこととする。また、歌曲、アリアはピアノ伴奏とし、ピアノ伴奏者は本学で準備する。願書に添えて伴奏譜を提出する。</p> <p>② 任意の独奏曲（箏、三味線、尺八等の日本の伝統的な楽器のための曲を含む。）を暗譜で演奏する。ピアノの独奏曲は、2と異なる曲とする。ピアノ以外の独奏曲は、無伴奏で演奏する。なお、ピアノ以外の楽器を使用する場合は各自で準備する。ただし、試験室に受験者本人が一人で持ち込める楽器に限る。</p>

注1 選択実技の任意の独唱曲及び独奏曲は自作曲も可とする。ただし、弾き歌い、又は無伴奏で演奏することとし、願書に添えて楽譜を提出すること。

注2 上記の実技検査は、入学後における研究分野及び卒業研究と関連するものではない。

注3 受験者は上履きを持参すること。

⑤ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
音楽実技	音楽科における表現及び鑑賞などの幅広い活動を指導する上で求められる音楽理論の理解度と音楽性（表現力、創造力）を、総合的に評価する。
面接	音楽教育への関心や教員を目指す目的意識、勉学意欲などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力などを志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書を含めて総合的に評価する。

(6) 学校教育教員養成課程 初等中等教科コース 生活健康・芸術教育サブコース 図画工作・美術教科

① 第1次選抜


実技検査、面接（出願書類（志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書）は面接に含めて評価する）の結果により選考し、募集人員の2倍程度を合格者とします。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に、「速達・簡易書留郵便」で、第1次選抜合格者には、選抜結果通知書、連絡事項を送付します。不合格者には、選抜結果通知書を送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金) 10時（予定）～12月19日(木) 17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は令和7年1月20日(月)～24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票[総合]国公立総合型選抜用」を教育学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

② 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、選抜を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目等について（第2次選抜）

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』 ②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔3教科3科目〕		
◆「地理歴史、公民」、「数学」、「理科」において計2科目以上を受験している場合は、「地理歴史、公民」の第1解答科目、「数学」、「理科」の第1解答科目のうち高得点1科目を採用する。		

- 注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』	
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	①『旧数学Ⅰ・旧数学A』	
	②『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』	

③ 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大 学 入 学 共 通 テ ス ト									個別学力検査等		合 計
国 語	地理歴史	公 民	数 学		理 科	外国語	情 報	小 計	実 技	面 接	
			①	②							
200	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	200	-	500	700	100	1300

注1. ()は、選択科目の配点を示します。

注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

④ 実技検査内容

検 査 内 容
鉛筆による静物デッサン

注1 描画材料（鉛筆、消しゴム他）は、各自持参すること。

注2 カルトン、画用紙（四つ切りサイズを使用する。）は、本学で準備する。

⑤ 持参作品

試験当日は、1年以内に制作した作品を1点持参する。実技検査の作品と合わせて面接の資料とする。

[作品サイズ]

平面：F40号またはB1パネル以内

立体：縦・横・高さの合計が150cm以内

- ・映像作品等及びスライド、ビデオテープ、CD、写真等での作品提出は認めない。
- ・持参作品の郵送等は、受け付けない。

⑥ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
美術実技	造形的な表現力をはじめ、造形活動に関わる能力を総合的に評価する。また、図画工作・美術科指導に必要な知識、思考力・判断力・表現力、及び美術への意欲、態度を評価の視点とする。
面 接	美術と美術教育に対する目的意識、学習意欲、基礎的知識、及びそれらを他者へ伝える自己表現力など、また中学校の美術科指導に必要な思考力・判断力・表現力と、美術と美術教育への興味・関心・意欲、及び主体的な態度を志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書を含めて総合的に評価する。

1 出願要件

産業マネジメント学科 地域資源マネジメント学科	次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 (3) 学校教育法施行規則第150条の規定（第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ① 合格した場合は入学を確約できる者 ② 本学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、本学科への志望動機が明確な者
----------------------------	--

※学校教育法施行規則第150条第7号により出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和6年10月17日(木)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelinesdownload/>）で公表しています。）なお、申請者は、申請の前により下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課 平日9時～17時：電話 089-927-9172
--

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金)10時～11月7日(木)16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(2) 出願手続

詳細については、13ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

成績請求票は到着後速やかに、14ページ「(3)出願書類の送付先」へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

3 試験期日

令和6年11月23日(土)9時から

詳細については、58ページの「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

4 試験場

社会共創学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に社会共創学部試験場前（試験場の位置については、66ページの「13 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

5 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接の結果及び提出された出願書類（志望理由書、調査書、活動報告書）の内容から、志願者の意欲・能力・適性・関心等を多面的、総合的に評価します。

(1) 産業マネジメント学科

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から2
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』（再掲）	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔4又は5教科5科目〕		
<p>◆「地理歴史、公民」、「数学②」及び「理科」において計3科目以上を受験している場合は、「地理歴史、公民」、「数学②」及び「理科」のうち高得点2科目を採用する。 ただし、「地理歴史、公民」において、2科目を受験している場合、第2解答科目のみの採用は行わない。なお、「理科」についても同様とする。</p> <p>◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は31ページ参照）</p>		

- 注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。
- 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
- 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象となりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』	
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』	
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』	

② 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等		合計	
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	小計	面接		出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)
			①	②							
150	(50) 又は (100)		50	(50)	(50) 又は (100)	150	-	450	150	50	650

- 注1. () は選択科目の配点を示します。
注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
120点	30点	150点	リーディングを150点とする。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	活動報告書、志望理由書、調査書を参考に、これまでの活動、志望理由、学習意欲、目的意識、経済・経営・社会・グローバル化に対する関心や課題意識などを質問に対する応答、及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」を総合的に評価する。なお、面接の評価が著しく低い場合は、総合点の順位にかかわらず合否を検討する場合がある。
出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。具体的には、活動報告書は志望者が経験した多様な取り組み、課題研究、及び取得資格などを総合的に評価する。志望理由書は学科アドミッション・ポリシーとの整合性、学習意欲、課題意識、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学習状況などを総合的に評価する。また、面接における参考資料とする。

(2) 地域資源マネジメント学科

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』（再掲）	
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情報	『情報Ⅰ』	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
〔3教科3科目〕		
◆「地理歴史、公民」、「数学」、「理科」及び「情報」において計2科目以上を受験している場合は、「地理歴史、公民」（2科目受験している場合は、第1解答科目）、「数学」、「理科」（2科目受験している場合は、第1解答科目）及び「情報」のうち高得点1科目を採用する。		

- 注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象となりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』	
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』	
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』	
情報	『旧情報』	

② 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大 学 入 学 共 通 テ ス ト									個別学力検査等		合 計
国 語	地理歴史	公 民	数 学		理 科	外国語	情 報	小 計	面 接	出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	
			①	②							
150	(100)		(100)	(100)	(100)	150	(100)	400	150	100	650

注1. ()は選択科目の配点を示します。

注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
120点	30点	150点	リーディングを150点とする。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	採 点 ・ 評 価 基 準 (一 般 的 基 準)
面 接	活動報告書、志望理由書、調査書を参考に、これまでの活動、志望理由、学習意欲、目的意識、地域資源や地域社会に対する関心や課題意識などの質問に対する応答及び面接時の態度から、本学科において学ぶために必要な「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。なお、面接の評価が著しく低い場合は、総合点の順位にかかわらず合否を検討することがある。
出 願 書 類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」「思考・判断」「興味・関心・意欲・協働」「技能・表現」について総合的に評価する。具体的には、活動報告書は志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを総合的に評価する。志望理由書は学科アドミッション・ポリシーとの整合性、学習意欲、課題意識、入学後あるいは卒業後の目標などを総合的に評価する。調査書は高等学校における学習などを総合的に評価する。また、面接における参考資料とする。

1 出願要件

- 愛媛県内の医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること
- 研究医の不足や臨床医の偏在などに強い関心を持ち、その是正に意欲を持って取り組むことを通して、愛媛県内において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること
- 合格した場合は入学を確約できること
- 卒業後に愛媛県内の医育・医療機関に勤務することを確約できる者で、以下のいずれかに該当するもの
 - (1) 愛媛県内の高等学校を令和4年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
 - (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を令和4年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金)10時～11月7日(木)16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出願手続

詳細については、13ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。
 成績請求票は到着後速やかに、14ページ「(3) 出願書類の送付先」へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

3 試験期日

令和6年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、58ページの「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

4 試験場

医学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に医学部試験場前（試験場の位置については、66ページの「13 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

5 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、総合問題及び面接の結果並びに提出された出願書類（志望理由書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から2
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
情報	『情報Ⅰ』	1
〔6教科8科目〕		
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。		

注1. ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
地理歴史	『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』	
公民	『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』	
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』	
情報	『旧情報』	

② 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		合計
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	小計	総合問題	面接	
			①	②							
100	(50)	(50)	50	50	100	100	50	500	200	200	900

注1. ()は、選択科目の配点を示します。

注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

科目等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	日本語や英語の論文・文章の内容を的確に把握した上で論述、解答させることにより、読解力、論述力を評価する。また、数学や理科の基礎的な知識を基にその内容およびそれに関連した事項についての知識、計算力、記述力を評価する。	令和7年2月10日(月) 16時から2週間 医学部医学科掲示場
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
出願書類 (志望理由書 調査書 活動報告書)	面接に含めて評価する。	

* 総合問題の正解・解答例又は出題意図の開示を郵送により請求する場合は、110円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し「医学部（総合型選抜Ⅱ）の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書きの上、医学部入試係（71ページ参照）へ請求してください。
受付期間：原則として開示日以降1か月間

1 出 願 要 件

高等学校の普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次のすべての条件に該当するもの

- (1) コンピュータ科学・応用情報工学に興味を持ち、この分野の学習に意欲を持つ者
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

2 出 願 期 間 等

(1) 出 願 期 間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月)10時～12月13日(金)16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出 願 手 続

詳細については13ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続きを行ってください。

3 試 験 期 日

令和7年2月1日(土)13時から

詳細については、58ページ「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

4 試 験 場

工学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、66ページの「13 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

5 選 抜 方 法 等

大学入学共通テストの成績、面接の結果並びに提出された出願書類（志望理由書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合／歴史総合／公共』（再掲）	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から2
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
情報	『情報Ⅰ』	1
〔6教科8科目〕		
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は31ページ参照）		

- 注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。
- 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
- 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象になりません。

② 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等		合計	
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	小計	面接		出願書類 （志望理由書 調査書 活動報告書）
			①	②							
50	(50)	(50)	200	200	150	150	200	1000	100	100	1200

- 注1. () は選択科目の配点を示します。
注2. 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
120点	30点	150点	リーディングを150点とする。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

科目等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、学力、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 （志望理由書） （調査書） （活動報告書）	学業成績、人物、特別活動、進路、動機などについて、総合的に評価する。

1 出願要件

次の(1)から(3)までのいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規程（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- ① 合格した場合は入学を確約できる者
- ② 志望学科及び志望特別コースのアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者

※ 学校教育法施行規則第150条第7号で出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要です。令和6年10月17日(木)までに必要書類を添えて申請してください。（入学資格審査の詳細については、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/>）で確認してください。）

なお、申請者は、申請の前に下記まで連絡してください。

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学生支援部入試課
平日9時～17時：電話 089-927-9172

2 出願期間等

(1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月)10時～12月13日(金)16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

(2) 出願手続

詳細については、13ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

3 試験期日

令和7年2月1日(土)9時から

詳細については、58ページの「7 試験期日及び試験時間」を参照してください。

4 試験場

農学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に農学部試験場掲示板（試験場の位置については、66ページの「13 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

5 選抜方法等

大学入学共通テスト、面接、口頭試問の結果及び出願書類（志望理由書、志願者評価書、調査書、活動報告書）により志願者の意欲・能力・適性・関心等を多面的、総合的に評価します。

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について（全特別コース共通）

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法		
教科	科目名等	
国語	『国語』	1
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	から1
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』（再掲）	
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』	1
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から2
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1
情報	『情報Ⅰ』	1
〔6教科8科目〕		
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。（詳細は31ページ参照）		

- 注1. ◆は、指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。
- 注2. 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
- 注3. 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合には合格者選考の対象となりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト		
教科	科目名等	
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』	
公民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』	
数学	① 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	
	② 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』	
情報	『旧情報』	

② 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（全特別コース共通）

大学入学共通テスト								個別学力検査等			合計	
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	小計	面接	口頭試問		出願書類 (志望理由書 志願者評価書 調査書 活動報告書)
			①	②								
100	50		50	50	100	100	25	475	200	100	150	925

注 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとします。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

③ 個別学力検査等の採点・評価基準

i. 食料生産学科 知能的食料生産科学特別コース

科目等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	学習意欲、知能的食料生産科学特別コースの理念、関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また、主体性・協働性、質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。
口頭試問	高等学校で履修する主要教科・科目の中で、知能的食料生産科学に関連する知識について評価する。
出願書類 （志望理由書） （志願者評価書） （調査書） （活動報告書）	学業成績、人物、特別活動、進路、動機などについて、総合的に評価する。

ii. 生命機能学科 健康機能栄養科学特別コース

科目等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	学習意欲、健康機能栄養科学特別コースの理念、関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また、主体性・協働性、質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。
口頭試問	高等学校で履修する主要教科・科目の中で、健康機能栄養科学に関連する知識について評価する。
出願書類 （志望理由書） （志願者評価書） （調査書） （活動報告書）	学業成績、人物、特別活動、進路、動機などについて、総合的に評価する。

iii. 生物環境学科 水環境再生科学特別コース

科目等	採点・評価基準（一般的基準）
面接	学習意欲、水環境再生科学特別コースの理念、関連する様々な問題への関心と解決意欲について評価する。また、主体性・協働性、質問に対する理解力及び表現力等も総合的に評価する。
口頭試問	高等学校で履修する主要教科・科目の中で、水環境再生科学に関連する知識について評価する。
出願書類 （志望理由書） （志願者評価書） （調査書） （活動報告書）	学業成績、人物、特別活動、進路、動機などについて、総合的に評価する。

7

試験期日及び試験時間

学部	学科・課程等		試験期日等	
法文学部	人文社会科学「昼間主コース」 人文社会科学「夜間主コース」		令和7年2月2日(日) 面接調書作成 9:00~9:30 面接(口頭試問を含む。) 10:00~	
教育学部	実践教育発達コース	特別支援教育サブコース	令和6年11月24日(日) 面接 9:00~	
		小学校教育サブコース	令和6年11月24日(日) 集団面接 9:00~	
	初等中等教育教科コース	言語社会教育サブコース	(国語教科)	令和6年11月24日(日) 集団面接 9:00~
			(社会教科)	
			(外国語(英語)教科)	
		科学教育サブコース	(算数・数学教科) (理科教科) (技術・情報教科)	令和6年11月24日(日) 集団面接 9:00~
	生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科	令和6年11月24日(日) 面接(プレゼンテーションを含む。) 9:00~	
		体育・保健体育教科	令和6年11月24日(日) 集団面接 9:00~	
		音楽教科	令和6年11月24日(日) 面接、実技試験(音楽実技) 9:00~	
		図画工作・美術教科	令和6年11月24日(日) 実技検査(美術実技) 9:00~12:00 面接 13:30~	
社会共創学部	産業マネジメント学科		令和6年11月23日(土) 面接 9:00~	
	地域資源マネジメント学科			
医学部	医学科		令和6年11月23日(土) 9:00~ 11月24日(日) 総合問題(120分)、面接	
工学部	工学科	デジタル情報人材育成特別プログラム	令和7年2月1日(土) 面接 13:00~	
農学部	食料生産学科	知能的食料生産科学特別コース	令和7年2月1日(土) 面接及び口頭試問 9:00~	
	生命機能学科	健康機能栄養科学特別コース		
	生物環境学科	水環境再生科学特別コース		

注1 集合時間等については、ダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項に記載されていますので、必ず確認してください。

注2 受験票については、受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。試験当日は、印刷した受験票を持参してください(18ページ参照)。

なお、受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

事 項	合 否 判 定 基 準		
	総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
学 部			
法 文 学 部	○		同点者は、同順位とする。
教 育 学 部 第1次選抜 第2次選抜		集団面接・面接の評価が著しく低い場合	<p>(第1次選抜) 全てのコースにおいて同点者は、同順位とする。</p> <p>(第2次選抜) (教育発達実践コース特別支援教育サブコース)</p> <p>① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。</p> <p>(教育発達実践コース小学校教育サブコース)</p> <p>① 同点者は、集団面接の得点により順位を付ける。 ② 集団面接の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。</p> <p>(初等中等教科コース言語社会教育サブコース)</p> <p>① 同点者は、集団面接の得点により順位を付ける。 ② 集団面接の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。</p> <p>(初等中等教科コース科学教育サブコース)</p> <p>① 同点者は、集団面接の得点により順位を付ける。 ② 集団面接の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。</p> <p>(初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース家庭教科)</p> <p>① 同点者は、面接(プレゼンテーションを含む。)の得点により順位を付ける。 ② 面接(プレゼンテーションを含む。)の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の得点により順位を付ける。</p> <p>(初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース体育・保健体育教科)</p> <p>① 同点者は、集団面接の得点により順位を付ける。 ② 集団面接の得点が同点の場合、出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書、スポーツ活動調書)の得点により順位を付ける。</p> <p>(初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース音楽教科)</p> <p>① 同点者は、実技検査の得点により順位を付ける。 ② 実技検査の得点が同点の場合、面接(出願書類(志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書)の評価を含む。)の得点により順位を付ける。</p>

			(初等中等教科コース生活健康・芸術教育サブコース図画工作・美術教科) ① 同点者は、実技検査の得点により順位を付ける。 ② 実技検査の得点が同点の場合、面接（出願書類（志望理由書、自己推薦書、調査書、活動報告書）の評価を含む。）の得点により順位を付ける。
社会共創学部		面接の評価が著しく低い場合	同点者は、同順位とする。
医学部		総合問題の得点あるいは面接の評価が著しく低い場合	① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合は、総合問題の得点により順位を付ける。 ③ 総合問題の得点が同点の場合は、大学入学共通テストの「外国語」の得点により順位を付ける。 ④ 大学入学共通テストの「外国語」の得点が同点の場合は、調査書の「全体の学習成績の状況」（旧調査書の場合は「全体の評定平均値）」が高い順とする。
工学部	○		同点者は、同順位とする。
農学部	○		同点者は、同順位とする。

(1) 合格者発表の日時

令和7年2月10日(月) 16時

教育学部第1次選抜の結果発表については、下記を参照してください。

課 程 ・ コ ー ス 等			参照先	
学校教育 教員養成 課 程	教育発達実践コース	特別支援教育サブコース	35ページ	
		小学校教育サブコース	37ページ	
	初等中等教科コース	言語社会教育サブコース (国語教科、社会教科、外国語(英語)教科)		37ページ
		科学教育サブコース (算数・数学教科、理科教科、技術・情報教科)		
		生活健康・芸術教育サブコース	家庭教科	39ページ
			体育・保健体育教科	40ページ
			音楽教科	42ページ
図画工作・美術教科	44ページ			


(2) 合格者発表の方法

- 合格者には、合格者発表日に、合格通知書、入学手続関係書類をレターパックプラス（配達手渡しで、受取時に印鑑が必要）で郵送します。合格者の発表は、送付された合格通知書が正式なものとなりますので、必ず「合格通知書」で確認してください。
- 次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス(URL)を事前に「お気に入り(ブックマーク)」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。

Webサイトに受験番号が掲載されているにもかかわらず、合格者発表日から3日経っても届かない場合は、受験した学部の入試係（71ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）にお問い合わせください。

Webサイト（携帯電話・パソコン共通）	
https://daigakuic.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和7年2月10日(月)16時(予定)～令和7年2月21日(金)17時

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

電話等による合否結果の照会には、一切応じられません。

10 留意事項

1. この総合型選抜Ⅱでは、各学部・学科等で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査するので、合格者が募集人員に満たない場合があります。
また、入学手続き者が募集人員に満たない場合でも、追加合格は行いません。
2. 本選抜に合格し入学手続きを完了した者は、国公立大学の一般選抜の合格者とはなりません。
3. 合格者は、入学手続き期間内に入学手続きを行わなかったときは、入学を辞退したものとして取り扱います。
4. 本選抜の合格者で、やむを得ない事情により入学を辞退する者は、令和7年2月19日(水)17時までに所定の手続きを行わない場合には、国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
5. 入学手続き完了者でやむを得ない事情により入学を辞退する者は、令和7年2月19日(水)17時(必着)までにその理由を明記した「入学辞退願」を本学へ提出し、入学辞退の許可を得なければ、国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
6. この総合型選抜Ⅱに不合格となった場合に備えて、国公立大学の一般選抜に出願することができます。本学の一般選抜に出願する場合は、本学が別途作成している「令和7年度一般選抜学生募集要項」(令和6年11月上旬本学ホームページにて発表予定)により、インターネットにて出願手続きを行い、所定の出願受付期間内に出願書類の提出をしてください。
7. 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、総合型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
8. 入学手続き完了後でも、高等学校を卒業しない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。
9. 試験時間中、机の上には、受験票に記載されている「机の上に置けるもの」以外の所持品を置いてはいけません。これら以外のものは、かばんにしまい各自の机の横又は椅子の下に置いてください。
※定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具は使用できません。
10. 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っているとなることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。(試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、受験上の合理的配慮申請が必要です。63ページ「11 合理的配慮を希望する入学志願者の出願」を参照してください。) 試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切っておいてください。これらを時計として使用することはできません。
11. 試験室内では、漢字、英字や地図等がプリントされている上着等は着用しないでください。座布団及びひざ掛け(コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む)で漢字、英字や地図等がプリントされていないものは使用を認めません。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
12. 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ、退室させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

本学では、病気・負傷や障がい等がある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いいたします。

書 類 等	障害者手帳 所持者	障害者手帳 不所持者
受験上の合理的配慮希望申請書 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/)	○	○
障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）の写し	○	×
受験上で必要な合理的配慮内容が記載された医師の診断書もしくは意見書の写し	○	○
大学入試センターから送付された「受験上の配慮事項決定通知書」の写し	○	○

(注) 日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要となります。なお、座布団、ひざ掛け、タオル(サイズは問わない)、ティッシュペーパー(袋から中身だけ取り出したもの)、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係（71ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）

(1) 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。詳細については、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類で確認してください。

① 入学手続期間

令和7年2月10日(月)～2月19日(水) 17時 必着 (郵送)

② 入学手続書類等

書 類 等	摘 要
保 証 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
愛媛大学関連団体への情報提供に関する同意書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
令和7年度大学入学共通テスト受験票	大学入試センター発行のもの (入学手続完了後に返還します。)
令和7年度愛媛大学受験票	出願サイトからダウンロードして印刷したもの (入学手続完了後に返還します。)
入学資格証明書	卒業証明書又はこれに代わる証明書(卒業証書不可) 在学中の者は、卒業後に提出してください。
住民票の写し (日本国籍を有しない者のみ)	市区町村長が発行したもの(日本国籍を有しない者のみ提出してください。)
入学料及び授業料	65ページ「(2) 初年度の諸経費」を参照

③ 入学手続の方法

入学手続の一部をインターネットにより行います。合格者は、入学手続専用サイトから必要情報の登録、入学料の納付を行い、入学手続書類に必要事項を記入の上、前記②の入学手続書類等を一括して、14ページ記載の「(3) 出願書類の送付先」へ、「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。

郵送する際に、入学手続期間内に必着することを郵便局で必ず確認してください。直接持参しても受理しません。

④ 注意事項

(ア) 合格者は、いかなる理由があっても、入学手続期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学辞退者として取り扱います。

(イ) 「大学入学共通テスト受験票」を紛失した場合は、大学入試センターに再発行の申請を行い、再発行された受験票を提出してください。再発行を受けた場合、当初発行のものは無効になります。申請の方法は「大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

(2) 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入 学 料	授 業 料	その他の経費	合計金額
法 文 学 部 「昼間主コース」	282,000円	年 額 535,800円 〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕	64,660円	882,460円
教 育 学 部			64,660円	882,460円
社 会 共 創 学 部			64,660円	882,460円
医 学 部			155,800円	973,600円
工 学 部			64,660円	882,460円
農 学 部			70,660円	888,460円
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000円	年 額 267,900円 〔前期分 133,950円 後期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注1 入学料及び授業料の額は、令和6年度納付額であり、令和7年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費は、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費及び校友会費等の合計金額（金額については変更される場合があります。）です。

(3) 納付金の納入

① 入 学 料 **282,000円**（法文学部「夜間主コース」は、**141,000円**）

納入期間 入学手続期間

② 授 業 料 前期分**267,900円**〔年額**535,800円**〕

（法文学部「夜間主コース」は、前期分**133,950円**〔年額**267,900円**〕）

注1 納入期間等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3 法文学部では、長期履修学生制度（職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度）を導入しています。授業料納入の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

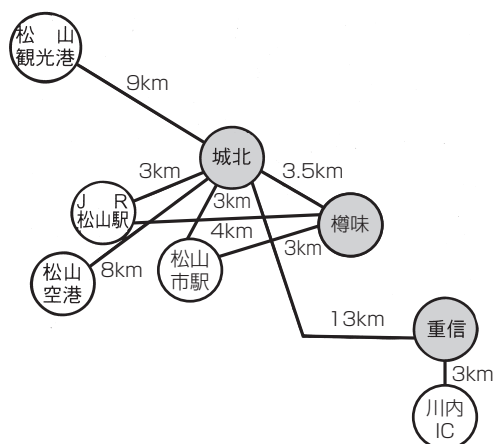
試験場

学部	図標示	試験場	所在地
法文学部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
教育学部			
社会共創学部			
工学部			
医学部	②	重信キャンパス	東温市志津川
農学部	③	樽味キャンパス	松山市樽味3丁目5番7号

試験場案内

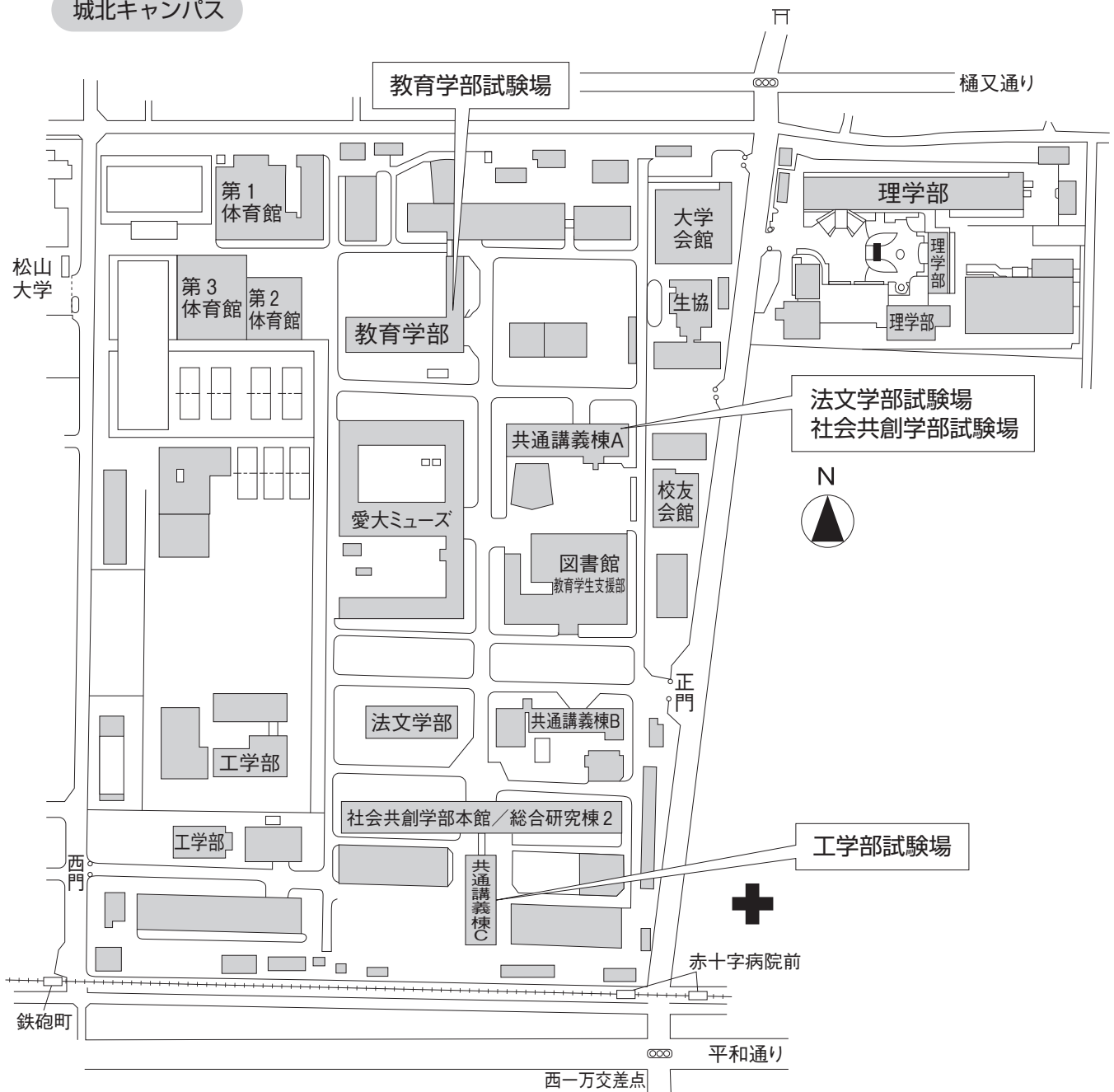


距離



① 法文学部、教育学部、社会共創学部、工学部

城北キャンパス



注 試験場は予定であり、変更になる可能性があります。試験場については、受験票ダウンロード期間中にダウンロードした「受験票」の連絡事項をご確認ください。

【アクセス】

● JR松山駅から

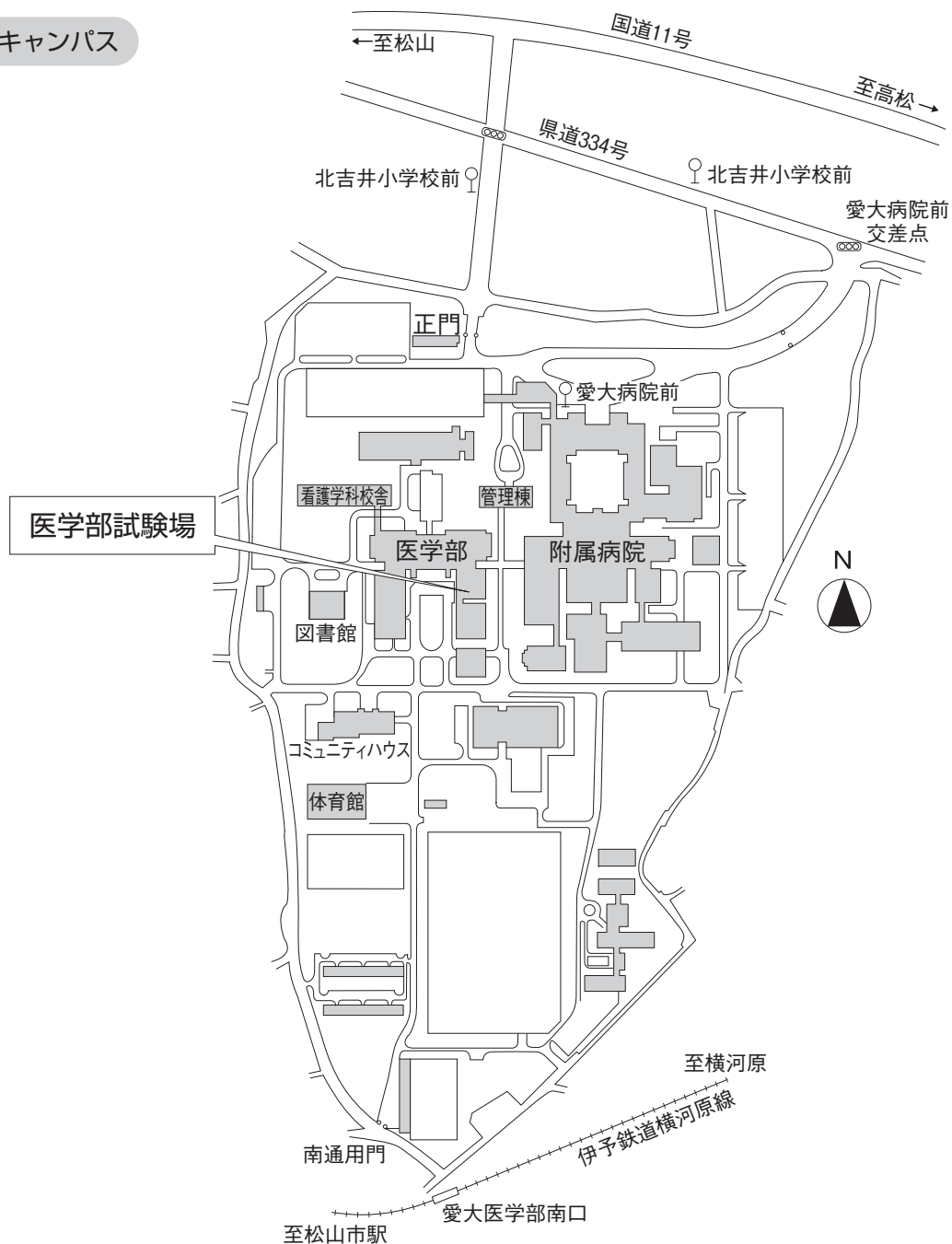
伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅前回り 乗車約28分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

② 医学部

重信キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町（JR松山駅から東へ徒歩5分）から横河原行き 乗車約32分
愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

● 松山市駅から

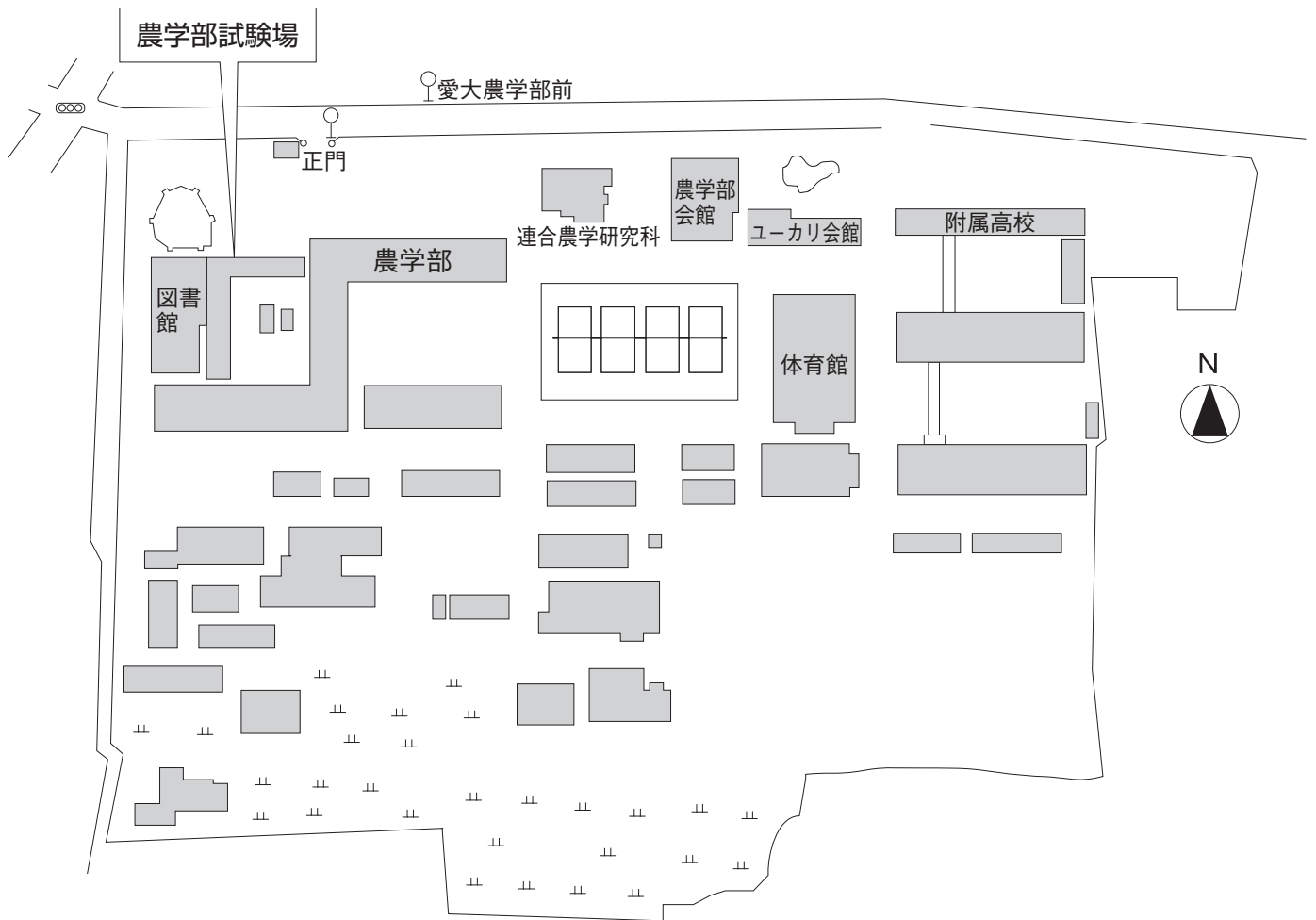
伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約35分 愛大病院前下車 徒歩すぐ

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約60分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

③ 農学部

樽味キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）JR松山駅前から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線（東野経由）松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

14 入学試験個人成績の開示

本学では、入学試験の個人成績及び総合点の順位を受験者本人に限って開示します。令和7年度入学試験の個人成績の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、面接、集団面接、口頭試問及び調査書等の出願書類については、A（期待される水準を上回っている）、B（期待される水準に達している）、C（期待される水準を下回っている）による段階評価を開示します。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和7年5月1日(木)～令和7年5月31日(土)

郵送による請求のみとし、この**期間内の消印**があるものに限り受け付けます。

請求方法：開示請求書により、令和7年度愛媛大学受験票又は令和7年度大学入学共通テスト受験票と、460円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（71ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）へ請求してください。

開示請求書は、本学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/results-release/>）からダウンロードできます。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：令和7年6月中旬頃、受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

15 個人情報取扱

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

16 入学試験に関する照会先

入試に関する電話による照会（お問い合わせ）は、月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）の9時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。

なお、インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問い合わせは、出願操作サポート窓口（コールセンター）（19ページ参照）へ連絡してください。

学 部	所 在 地	電 話 番 号
法 文 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部入試係	089-927-9221
教 育 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部入試係	089-927-9377
社 会 共 創 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学社会共創学部入試係	089-927-9019
医 学 部	〒791-0295 東温市志津川 愛媛大学医学部入試係	089-960-5869
工 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学工学部入試係	089-927-9697
農 学 部	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 愛媛大学農学部入試係	089-946-9648
入 試 課	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課	089-927-9172

Webでのお問い合わせは、下記をご利用ください。

入試情報についてのお問い合わせ（URL）

<https://www.ehime-u.ac.jp/mail-contact/form-entrance/>

17 入試情報サービス

■愛媛大学受験情報サイト (<https://juken.ehime-u.ac.jp>)

入試日程、学生募集要項、オープンキャンパス、進学相談会など受験にかかわる情報に加え、学びと研究、大学生生活、卒業後の進路など、本学の情報を幅広く提供しています。



■入学試験実施統計 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/entrance-exam-statistics/>)

過去7年分の入学試験実施統計（選抜別の実施状況や当初合格者の成績、都道府県別入学者数など）を掲載しています。



■インターネット出願 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>)

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜への出願は、出願期間内に、インターネット出願サイトから行います。出願前に、動画「インターネット出願の使い方」の視聴や学生募集要項に記載されるインターネット出願の操作方法を確認することをお勧めします。



■がんばれ国公立大学受験生!! (<https://daigakujc.jp/ehime-u/>)

イベント・トピックス、入試情報、大学の特长・沿革、学部・学科情報、学生生活、キャリア・就職支援等の情報を提供しています。

(運営：大学情報センター)



■学生募集要項等の提供時期

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等は、受験情報サイトから閲覧・ダウンロードができます。
大学ガイドブック（大学案内）等を資料請求される場合は、愛媛大学ホームページの「資料請求」（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/document-request/>）からお手続きをしてください。

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等	提供開始予定時期
大学ガイドブック（大学案内） 学部ガイドブック（学部案内） 法文学部案内、教育学部案内、社会共創学部案内、理学部案内、 医学部看護学科案内、工学部案内、農学部案内	提供中
入学者選抜要項 ^(注1)	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅰ ^(注2)	提供中
学生募集要項 私費外国人留学生選抜、 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜、社会人選抜	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅱ ^(注2) 、学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ ^(注2)	提供中
学生募集要項 一般選抜 ^(注2)	令和6年11月上旬～

(注1) 印刷物（冊子）での配布は行っていません。

(注2) インターネット出願のみ。印刷物（冊子）での配布は行っていません。

18 「入試過去問題活用宣言」への参加

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用した場合は、入試終了後、本学のホームページで公表します。

なお、「入試過去問題活用宣言」の詳細は、「入試過去問題活用宣言」ホームページ（<https://www.nyushikakomon.jp>）にて公表しています。